

オオキヨズミシダ

オシダ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

Polystichum tsus-simense (Hook.) J. Sm. var. *mayebarae* (Tagawa) Kurata

国カテゴリー

該当なし

選定理由

生育地が稀で個体数が少ない。(現況:R-)

形態

常緑で2回羽状複葉。小羽片の上半は羽軸に沿着する。柄の鱗片は褐色または暗褐色、中軸の鱗片は細く、子嚢群は葉の先端から着き、中肋へやや寄る。

国内分布

本州、四国、九州。

県内分布

中能登区、口能登区、南加賀区。

生態など

常緑性の半地中植物または地表植物である。地上から葉を叢生し、群生する。好湿潤地性、繁殖は孢子による。孢子は晩春頃から熟し、始め、風で散布する。無配生殖も行う。

生育環境

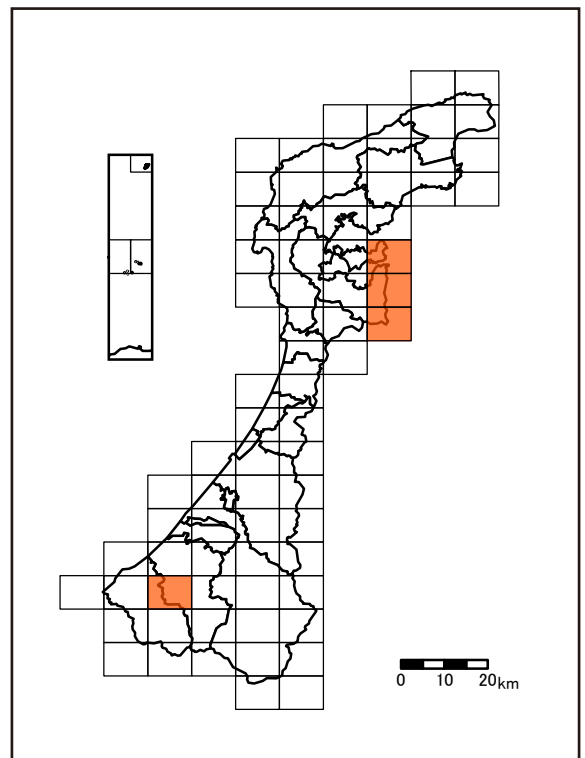
ヤブツバキクラス域の下部の川沿いや谷間に稀に生育する。

危険要因

森林伐採、河川改修、土地造成、道路工事、自然遷移、産地局限。



林 二良・2009年2月24日・口能登



県内の分布